

9月9日(午前) SA会場(みちのくホール)
セッション S01 地球環境と生元素循環
コンピーナー: 野尻 幸宏・西岡 純・大木 淳
之・小笠 恒夫・谷本 浩志・遠嶋 康徳

9:20-9:30 <イントロダクション>

9:30-10:00 招待講演 PR0127
民間航空機による大気中 CO₂ 観測の新たな展開
○町田 敏暢(国立環境研究所)・丹羽 洋介・
松枝 秀和・梅澤 拓・坪井 一寛・石島 健太
郎・藤田 遼・澤 庸介・笹川 基樹

10:00-10:20 PR0074
大気中酸素濃度の時空間分布の変動から分かる
こと
○遠嶋 康徳(国立環境研究所)・向井 人史・
町田 敏暢・野尻 幸宏・中岡 慎一郎・寺尾 有
希夫・笹川 基樹・白井 知子・石澤 みさ

10:20-10:40 PR0001
硫酸の三酸素同位体組成を用いた SO₂ 排出抑制
期におけるケミカルフィードバック機構の解明
○服部 祥平(東工大)・飯塚 芳徳・Alexander
Becky・石野 咲子・藤田 耕史・Zhai Shuting
Sherwen・大島 長・植村 立・山田 明憲・鈴木
希実・的場 澄人・鶴田 明日香・Savarino
Joel・吉田 尚弘

10:40-10:50 <休憩>

10:50-11:10 PR0168
pCO₂ 観測に基づく北太平洋表層炭酸系パラメー
タの時空間分布再現
○中岡 慎一郎(国立環境研究所)・高尾 信太
郎・所 立樹・野尻 幸宏

11:10-11:30 PR0174
北海道噴火湾における、基礎生産に関する化学
成分の時系列変動
○梅澤 沙知(北大)・戸澤 愛美・大木 淳之・
野村 大樹

9月9日(午前) SB会場(岩木ホール)
セッション S04 地球化学の温故知新
コンピーナー: 鈴木 勝彦・平田 岳史・田中 剛

9:00-9:20 PR0046
最近10年間の質量分析技術の進歩
○平田 岳史(東大)・仁木 創太・沼 倫加・赤
宗 舞・煙山 優太・田中 栄成・山下 修司・
Khoo H. Hsin・中里 雅樹・栗原 かのこ・堀越
洸

9:20-9:40 PR0033
地球化学的研究の領域拡大を如何に図るか
○天川 裕史(海洋研究開発機構)

9:40-10:00 PR0063
希土類元素から開いた氷期-間氷期サイクル解
明への扉
○赤木 右(九大)

10:00-10:20 PR0104
希土類元素同位体宇宙化学
○日高 洋(名大)

10:20-10:40 PR0124
オンネト一湯の滝で見られるテトラド効果
○田中 万也(日本原子力研究開発機構)・高橋
嘉夫

10:40-10:50 <休憩>

10:50-11:10 PR0197
REE tetrad effect, Sr-Nd isotope system,
magnitude of Eu anomaly and Eu isotope
fractionation
○李 承求(韓国地質資源研究院)・田中 剛

11:10-11:30 PR0209
縁辺海及び西部北太平洋における海水・物質循
環の解明: REEs・Nd 同位体比等をトレーサー
として
○張 勁(富山大)

11:30-11:50 PR0064
光量の違いが表層水中の酸素消費速度に及ぼす影響
○大石 雄太 (名大)・角皆 潤・中川 書子・伊藤 昌稚

11:50-12:10 PR0011
北太平洋表層栄養塩の季節・経年変動
○安中 さやか (海洋研究開発機構)

12:10-12:30 PR0055
北太平洋内部における溶存酸素と栄養塩の長期変動
○小笠 恒夫 (水産研究・教育機構)

11:30-11:50 PR0026
酸素・水素安定同位体 ($\delta^{18}O$, δD), トリチウム (T) 濃度から見た新潟県における湖沼水系と降水の特徴
○狩野 直樹 (新潟大)・諸橋 峻秀・大石 皓平・He Lu・Adiljiang Tiemuer・宮本 直人・今泉 洋・渡部 直喜・Yongjie Zheng

11:50-12:10 PR0101
地球化学は化学のフロンティアになれるか
○鍵 裕之 (東大)

12:10-12:30 PR0153
 ^{14}C -AMS 分析の温故知新
○南 雅代 (名大)

9月9日 (午後) SA 会場 (みちのくホール)
総会・授賞式・受賞講演

9月10日(午前) SA会場(みちのくホール)
セッション S01 地球環境と生元素循環
コンピーナー: 野尻 幸宏・西岡 純・大木 淳
之・小笠 恒夫・谷本 浩志・遠嶋 康徳

9:00-9:30 基調講演 PR0051
北太平洋における鉄および栄養塩の循環と生物
生産
○西岡 純(北大)・小畑 元・平譯 享・安田
一郎

9:30-9:50 PR0008
河川水への風化による岩石成分供給とその季節
変化
○野尻 幸宏(弘前大)・竹田 和志・櫻庭 夏海

9:50-10:20 招待講演 PR0161
食料・水・生態系と調和する気候変動対策とは
○三枝 信子(国立環境研究所)

9月10日(午前) SA会場(みちのくホール)
セッション S03 環境放射能研究の最前線
コンピーナー: 大野 剛・武田 晃・赤田 尚史・
坂口 綾

10:40-11:10 招待講演 PR0014
六ヶ所使用済み核燃料再処理施設の稼働に向け
た放射性核種に関する動態研究
○植田 真司(環境科学技術研究所)

11:10-11:30 PR0034
青森県六ヶ所村及び弘前市におけるヨウ素-129
降下量の時系列変化
○長谷川 英尚(環境科学技術研究所)・柿内
秀樹・赤田 尚史・床次 真司

11:30-11:50 PR0049
過去の試験操業時に水圏堆積物へ蓄積した使用
済み核燃料再処理施設由来の¹²⁹Iの溶出状況の
評価
○佐藤 雄飛(環境科学技術研究所)・今井 祥
子

9月10日(午前) SB会場(岩木ホール)
セッション S02 北日本におけるグローバル地球
科学総合研究
コンピーナー: 折橋 裕二・星 博幸・平野 直
人・福山 繭子・根本 直樹・前田 拓人・石田
祐宣

9:10-9:20 <イントロダクション>

9:20-9:40 PR0156
下北半島に分布する中新世~第四紀火山岩類の
岩石学的・地球化学的特徴

○相澤 正隆(琉球大学)・安井 光大

9:40-10:00 PR0173
青森県, 下北半島西部に分布する新第三紀檜川
層層序の再検討と仏ヶ浦カルデラの提唱

○盛合 秀(弘前大)・折橋 裕二・佐々木 実・
沼田 翔伍・浅沼 尚・平田 岳史・浅原 良浩

10:00-10:20 PR0159
青森県, 下北半島に分布する前期白亜紀深成岩
類のU-Pb年代と全岩化学組成: 白亜紀前弧火
成作用の特徴

○折橋 裕二(弘前大)・佐々木 明伸・佐々木
実・沼田 翔伍・浅沼 尚・平田 岳史

10:20-10:50 招待講演 PR0207
北海道・蝦夷層群の層序学的研究と白亜紀の国
際標準年代尺度と古環境研究への貢献
○高嶋 礼詩(東北大)・西 弘嗣・折橋 裕二・
山中 寿朗

10:50-11:00 <休憩>

11:00-11:20 PR0193
前期更新世の“津軽海峡”の復元
○根本 直樹(弘前大)

11:20-11:40 PR0116
静力学モデルを用いた冬季津軽平野の冷氣形成
解析
○岩川 裕亮(弘前大) 石田 祐宣

11:40-12:00 PR0022
八幡平—焼山地域に位置する大沼地熱発電所地
熱水輸送配管に沈殿するシリカスケールの地球
化学的特徴
○福山 繭子(秋田大)

11:50-12:10 PR0071
六ヶ所村大型再処理施設周辺土壌におけるヨウ素の存在形態と固液分配の関係
○武田 晃 (環境科学技術研究所)・海野 佑介
塚田 祥文・高久 雄一・久松 俊一

12:10-12:30 PR0181
原子燃料サイクル施設沖合における海水中トリチウムの分布
○城谷 勇陸 (海洋生物環境研究所)・稲富 直彦
宮本 霧子・山田 正俊・日下部 正志

12:30-13:30 <休憩>

13:30-13:50 PR0076
海洋環境における放射性核種のデータベース作成とその解析からわかる東電福島事故起源セシウムの太平洋での長期広域挙動
○青山 道夫 (筑波大)

13:50-14:10 PR0021
福島第一原子力発電所事故後 10 年間にわたる海底堆積物中の超ウラン元素濃度及び放射能比の時系列変化
○山田 正俊 (海洋生物環境研究所)・及川 真司
城谷 勇陸

14:10-14:30 PR0061
環境放射能学の発展を目指した AMS におけるアプリケーションの開拓:⁹⁰Sr と ¹³⁵Cs AMS の実用化に向けた研究
○本多 真紀 (ウィーン大)・M. Martschini・J. Lachner・O. Marchhart・A. Wieser・A. Priller・P. Steier・R. Golser・坂口 綾

14:30-14:50 PR0044
リンゴ果実への ¹⁴C 移行評価のための成木地上部への ¹³C02 ばく露実験系の構築
○今田 省吾 (環境科学技術研究所)・多胡 靖宏
柳川瀬 賢幸・守谷 友紀

14:50-15:10 PR0103
海水からホタテガイ体内へのトリチウム移行に関する実験
○石川 義朗 (環境科学技術研究所)・今井 祥子
谷 亨・多胡 靖宏・高久 雄一

15:10-15:30 PR0208
市販の固体高分子膜電解濃縮装置の高濃縮効率化に向けた改良
○赤田 尚史 (弘前大)・柿内 秀樹・一柳 錦平
岡田 一沙・桑田 遥・太田代 楠生・田中将裕

12:00-12:30 基調講演 PR0039
秋田県の河川水の地球化学的特徴と元素運搬機構
○石山 大三 (秋田大)・Pham Minh Quyen・中野 孝教・申 基澈

12:30-13:30 <休憩>

13:30-13:50 PR0162
磐城海山における鉄マンガングラストの 0s 同位体層序年代と元素組成
○小林 英史 (弘前大)・鈴木 勝彦・臼井 朗・常 青・眞壁 明子・柏原 輝彦・折橋 裕二

13:50-14:10 PR0123
プチスポット溶岩の希ガス同位体組成から太平洋プレート下マグマの起源を探る
○中尾 魁史 (東北大)・平野 直人・角野 浩史

14:10-14:30 PR0027
沈み込む太平洋プレートの改変とプチスポット火山活動による北日本収束境界への影響
○平野 直人 (東北大)

14:30-14:50 PR0028
北日本, 青森県津軽地域の地殻回転運動
○星 博幸 (愛知教育大)・久野 元晴

14:50-15:10 PR0185
岩木山山麓北東部、十腰内岩屑なだれ堆積物の形成時期: 全岩化学組成と K-Ar 年代からの制約
○宍戸 円・○佐々木 実 (弘前大)・折橋 裕二・佐々木 聖弥・角野 浩史

15:10-15:40 招待講演 PR0136
謎に満ちた地殻深部・浅部低周波地震
○小菅 正裕 (弘前大)

15:40-15:50 <総合討論>

15:30-15:40 <休憩>

15:40-16:00 PR0086
極微量人工放射性Uの海洋循環トレーサー利用
簡便化に向けた海水中U捕集法の検討
○阿部 美波 (筑波大)・坂口 綾・瀬古 典明・
保科 宏行・Karin Hain・和田 茂樹・山崎 信
哉末木 啓介

16:00-16:20 PR0113
質量分析による環境中 ^{237}Np 定量法確立に向け
て
○中島 朗久 (筑波大)・坂口 綾・早川 優太・
羽場 宏光・塚田 和明・Karin Hain・Jian
Zheng・瀬古 典明・保科 宏行・山崎 信哉・末
木 啓介・横山 明彦

16:20-16:40 PR0121
核分裂生成核種 ^{135}Cs の測定法確立に向けた取
り組み
○椎根 大輔 (筑波大)・坂口 綾・笹 公和・松
村 万寿美・高橋 努・末木 啓介

16:40-17:00 PR0140
水環境中における有機・無機ヨウ素同位体定量
の試み
○西塚 魁人 (筑波大)・坂口 綾・笹 公和・高
橋 努・松村 万寿美・三浦 勉・浅井 志保・和
田 彩佳・高久 雄一・山崎 信哉・末木 啓介

17:00-17:20 PR0010
ICP-MS/MS を用いた極微量放射性同位体分析法
が拓く環境放射能研究
○大野 剛 (学習院大)・佐藤 直輝・佐藤 妃
奈・福本 学・五十嵐 康人

17:20-17:30 <総合討論>

9月10日(午後)SB会場(岩木ホール)

セッションS04 地球化学の温故知新

コンビーナー:鈴木 勝彦・平田 岳史・田中 剛

16:00-16:10 <イントロダクション>

16:10-16:40 招待講演 PR0020
鉛同位体比からみる中世青銅製品と北宋銭
○齋藤 努 (国立歴史民俗博物館)

16:40-17:10 招待講演 PR0092
海洋学および古海洋学での地球化学トレーサー
の応用とフランスでの研究動向
○立川 和代 (フランス国立科学研究センタ
ー)

17:10-17:40 基調講演 PR0002
1972年に会員が描いた未来の地球化学
○田中 剛 (名大)

17:40-18:00 <総合討論>